

学年・教科・担当者	1年 社会（歴史的分野） 宮本 貴史
-----------	--------------------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	第1章 歴史のとらえ方と調べ方 第1節 歴史の流れと時代区分	・年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解し、資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身につける。
	5	第2章 古代国家の成立と東アジア 第1節 人類の登場から文明の発生へ 第2節 東アジアのなかの倭(日本)	・古代文明や宗教がおこった場所や環境などに着目して特徴を比較して考察することができる。世界の各地で人々が農耕や牧畜を基盤に築いた諸文明には、生活技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展、都市や巨大建造物、身分の分化などの共通する特徴があることに気付くことができる。
	6		・ギリシャ・ローマ文明の政治制度について、現在の民主政治との違いに着目し考察することができる。 ・日本列島において狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことや、自然崇拝や農耕儀礼などに基づく信仰が、後の時代にもつながっていることに気付くことができる。 ・古墳の大きさやその分布や鉄の広がりをもとに、ヤマト政権の勢力が拡大したことを考察することができる。東アジアとの関わりについては、大陸から移住してきた人々が日本社会や文化に果たした役割に気付くことができる。
2	9	第3節 中国にならった国家づくり 第4節 展開する天皇・貴族の政治	・聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程を大きくとらえ、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられたことを理解する。
	10		・大陸からもたらされた仏教が、日本の文化の様々な面に影響を及ぼしたことに気付き、国際的な要素をもった文化が栄えたことを理解する。
	11		・摂関政治のもとでの平安京における貴族の政治の特色を理解する。
	12		・東アジアの情勢の変化によって、日本でも政治と文化において独自の動きが見られるようになったことに気付くことができる。 ・日本独自の文化が発明され、それを使った文学作品が書かれたことなどに気付き、文化の国風化が進んだことを理解する。

3	1	第3章 武家政権の成長と東アジア 第1節 武士の世の始まり	・地方の反乱を鎮めることを通し、武士団が成長し自立していき、武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解する。 ・武士の政治への進出と政治の展開、貴族の政治との違いに着目して、武家政権の特徴を考察することができる。
	2		
	3		

評価について	
評価の観点	評価の方法
知識・技能	・定期テスト ・小テスト など
思考・判断・表現	・定期テスト ・課題 ・発表 など
主体的に学習に取り組む態度	・授業態度 ・課題 ・ノート など